

## 『獅子王誕生』

400年以上続く酒田まつり、その象徴である大獅子にかまれて彼はかわった。かわった彼の眼光を見たのは、酒田市出身の元プロレス世界ヘビー級チャンピオンのM。Mは彼を特訓して獅子の穴【ライオンピット】の悪のプロレスラーに挑ませることを決意する。

日和山での特訓は続いた。あの急な上り坂をうさぎとびで1日1万回往復することで強靱な足腰をつくり、上り坂から転げ落ちることで必殺技『日和山クラッチ』を、海鮮市場、みなと市場でイカを焼き、イカのそりかえる姿をみて殺人技『イカバスター』からの『イカ固め』を、そして、元世界チャンピオンのMも体得できなかった幻の技『柳小路十字スパイク』を体得し、悪の軍団に立ち向かう。

# 獅子王物語

M

獅子王

## 『酒田生まれの彼』

彼は酒田の柳小路で生まれた。彼は、けして選ばれた人間ではなかった。

どちらかといえば小柄でやせっぽち。目立つ存在ではなかったが酒田を愛する気持ちだけは誰にも負けたことはなかった。

## 『平和な商店街が悪の手に』

そのころ中通り商店街は、美味しいジェラートモアレさん、酒と人形の大泉さん、気のいい仏壇の佐藤さんたちによって、明るく楽しい中通り商店街であった。そこに忍び寄る悪の手。

酒田征服を狙う獅子の穴【ライオンピット】と呼ばれる悪のプロレスラーを育成する秘密組織によって、平和を愛する中通り商店街の方々が催眠術により次々と悪の手下にされてしまう。

悪の手下は毎晩悪だくみをし酒田を悪魔の棲むまちにしようとたくらんでいた。

そんな悪を憎み、酒田をなんとか救いたいと彼は考え、強くなり獅子の穴【ライオンピット】の悪人を退治するしかないと考える。

しかしどうしても強くなれない。彼は悩んでいた。